

アイリスLetter

保護者の皆様へ



2017年12月20日発行
第8号
広島女学院中学高等学校

12月10日、ノルウェーのオスロで、世界各国の各機関と共に連携を取りながら核兵器廃絶を目指してきたNGOの団体・I CANが、ノーベル平和賞を受賞し、大きなニュースとなりました。その席上、被爆者の一人として、長年にわたりカナダを中心に核兵器の廃絶を訴え続けてきた、サーロー節子さんが演説を行いました。その内容は被爆体験を通して、人類の未来と世界の政府の指導者に対して強く警告を発する、大変感動的なものでした。

彼女は広島に生まれ、中村節子さんとして広島女学院・高等女学校に在籍していた13歳の8月6日に動員先の第2総軍司令部で被爆、建物のがれきの中から這い出て九死に一生を得られました。広島女学院大学を卒業後、アメリカで勉学。留学前に知り合い、関西学院大学で英語教師をしておられたサーロー氏と結婚し、カナダに移ります。トロント大学大学院の社会福祉学部を卒業、心身障害児センター、YWCA、トロント市のソーシャルワーカーとして働かれ、カナダの社会に尽くした功績を評価されて同大学院から表彰されます。また、平和活動の功績に対して、カナダで民間人に贈られる最高の荣誉賞である「オーダーオブカナダ」賞を受けておられます。彼女が被爆40年を記念して書いた体験記・「沈黙の閃光」は、その後1987年にカナダの高校の教科書に掲載されますが、カナダの地に於いて彼女の平和への活動がこの様に受け入れられるために、福祉を通して社会に貢献され、地域の方々と共に歩まれた長年の地道な取り組みがあったことが想像されます。

アメリカでの留学時に、被爆者として発言したことに対して、「パールハーバーを忘れるな！日本に帰れ！」と激しく抗議を受け、戸惑われたことが書かれています。その体験を通して、「単に被爆体験を語るだけではだめであり、原爆投下の間違いを歴史的に証明し、今人類はその時以上の危機にさらされていることを実証しなければならぬ。」また、「被爆者自身の過去の事実だけでなく、どういう思いで今を生きているかについても、伝えることが大切である。」と感じ、活動を続けてきたことを語っておられます。今回の演説の内容は、若い時から一貫して持ってこられたその姿勢が、ぶれることなく貫かれてきたことを示しています。この度、世界に向けて発信された演説の中で、「この一発の爆弾で私が愛した街は完全に破壊され…、彼らは燃えて灰と化し、蒸発し、黒焦げの炭となりました。その中には、私自身の家族や、351人の同級生もいました。…」とありましたが、この351人こそ、今、女学院中高東校地の慰霊碑に刻まれている犠牲者の一人一人の名前であることを覚えて、感慨深いものがありました。広島女学院に集う私達全てが負っているもの、繋いでいくべき一つの使命を新たに覚えさせられる授賞式でありました。(先述の「沈黙の閃光」は、日本原水協のHPに掲載されています。今回の演説全文と共に、是非一度お読みになることをお勧めいたします。)

皆様への今年一年の感謝と共に、クリスマスの祝福が豊かにございますようお祈りいたします。良き新年をお迎えください。

聖書の言葉

「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」

ヨハネによる福音書1章5節
(校長)

☆☆☆ クリスマスの行事に皆様お揃いでおいでください ☆☆☆

○12月20日(水) 18:00~19:30 広島女学院クリスマス(ゲーンズホール)

○12月23日(土・祝) 17:30~ 広島女学院メサイアコンサート(ゲーンズホール)

第40回 高校英語スピーチ&

プレゼンテーションコンテスト

高1・高2によるコンテストは今年で節目の第40回を迎えました。行事や日々の課題に追われながら、そして準備期間が短いなか、どの生徒もぎりぎりまで入念に準備し、素晴らしい発表を見せてくれました。自分の経験から堂々と意見を語り、聴衆側の生徒もとてもよく聞き、反応していました。時に笑いに誘われながら、あっという間の60分でした。

ゲスト審査員のピーター・ゴールズベリー氏(元広島大学名誉教授)からは、技術的な助言をいただいただけでなく、「本当に素晴らしい。来年にまた期待したい。」と絶賛していただきました。司会、音響、照明もすべて生徒の手で運営し、聴衆生徒も一体となり、生徒全員で支え作り上げるコンテストとなりました。

出場生徒、審査結果は以下のとおりです。

【高2】

Y・M (2-A) What is Important for You?

H・R (2-A) Endangered Languages

F・Y (2-B) Have Diverse Viewpoints,
Flexible Thinking

U・M (2-D) The Phrase I Treasure

F・H (2-E) People's Society
with C (最優秀賞)

【高1】

N・R (1-A) Everything Changes Us

M・S (1-B) For the More Meaningful
Discussions

K・C (1-C) Get Over the Difference
of Awareness

N・A (1-D) New Means of Conveying
the Message of the
hibakusha (最優秀賞)

Y・F (1-E) Music and the Power of
Music

(英語科)

父親母親教室

11月25日(土)に広島東洋カープ前監督の野村謙二郎さんを講師に迎え、父親母親教室が開催され、約200名の保護者の方々にご参加いただきました。



講演はユーモアを交えながらの内容で、チームの士気を下げないために感情を表に出して叱責しないよう心がけ、どうしても抑えられないときは、その時の感情を手帳に書くことで発散したり、目標を常々口にし、徹底して意識改革を行ってきたことなどをお話いただき、今の教育でも大切な“信じて待つ”ことにつながる内容だと思いました。

個を育てる、組織を育てるために私たちも家庭で、学校で、そして社会でも実践できる内容で深く考えさせられる意義深い講演となりました。

お世話してくださった役員の方、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

(高校教頭)

冬休みの過ごし方

期末試験が終わってから新学期の授業開始まで1ヶ月もあります。この期間、生徒にとってはとても楽しい時期ではありますが、旅行や行事が続いて生活のリズムを崩しがちです。健康に留意するとともに、寝坊の習慣がついたり、学校からの課題が溜まったりしないようにしましょう。

新年を迎えるときに、新しい学年になるのだという心構えをして、同時に3学期のスタートをうまく切ろうという目標立て、変革への意識を明らかにすることは、成長期にはやはり大切なように思います。単にテスト結果、順位へのこだわりで終わるのではなく、学んだことが身につくための習慣作り、結果よりもプロセス重視の目標設定であるよう、願っています。

スマホやケータイなどの長時間使用は、常に問題となります。新しく購入、また機種変更したときには特に時間が急増しがちですので、ご注意ください。インスタグラムが流行していますが、インスタ映えをねらった危険行為も報道されています。一般常識、良識を教えるチャンスとしても、SNS とのつきあい方をご指導ください。

また、SNS の利用にからむリスクに無防備に身をさらすことのないよう、注意を喚起してください。中高生は機器の操作は得意ですが、活字メディアから情報を取り入れることが大人に比べて圧倒的に少ないので大人からの指導が必要と考えます。ご家族内でのコミュニケーションを密にして、よいお休みをお過ごしください。

(生徒支援部)

保健室だより (8)

待ちに待った冬休みです。受験生のみなさん、寒さに負けずがんばってくださいね。

他学年のみなさんは、生活のリズムをくずさないように、早寝早起きの習慣を守っていきましょう。寒いので、部屋の中にいることも多くなり、運動不足になりがちになるかもしれませんが、部屋の中でも、ストレッチやラジオ体操など、体を動かして、心身を鍛えておきましょう。落ち込みがちな気持ちも身体を動かすことでリフレッシュできることでしょう。

(保健室)

心の健康 (8)

ストレスいっぱいになる年末年始です。前回に引き続いてストレス解消のヒントを頭文字順にお知らせします。今回はEです。

E—eat・食事を大事にしよう

食べることは人間が生きていることの基本です。食べることで身体が成長し、健康が維持され、そして心が潤います。

身体と心は相互関係にあるので、ほど良く食べると心も落ち着きます。心配ごとがありストレスがかかると食べられなくなったり、やたら食べ過ぎてしまったりします。

1日の食事回数については、朝・昼・夕の3食になったのは江戸時代からで、鎌倉時代では1日2回だったそうです。皆さんはどの時代の食事スタイルですか？

食事は身体への栄養補給だけではなく、人は誰でも美意識を持っているので、食べ物のきれいな色や香りや匂い、甘味、旨味などから喜びや安らぎ、満足感を得ます。毎日の生活の中で、食事に心配りをし、工夫をすることはストレス解消にもなります。

(カウンセラー)

お譲りください

吹奏楽部では、現在楽器が不足して困っています。また、学校所有の楽器も老朽化して使えなくなってきています。ご家庭に使わなくなった楽器はありませんか。木管・金管楽器全般を必要としていますが、特にB^bチューバ、B^bバスクラリネット、ユーフォニアム、オーボエ、ファゴット、バリトンサクソ、ソプラノサクソ、バストロンボーンが不足しています。修理をすれば使えるようなもので、中高吹奏楽部に寄付していただけるものがあれば、Tel:082-228-4131 吹奏楽部顧問 (山崎・川鍋・前本) までご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

(吹奏楽部顧問)

生徒の活躍

《高校》

◇個人の活躍

* 日韓広島マダン韓国語スピーチコンテスト

T・Y (2-B) 銅賞

Y・M (2-A) 奨励賞

A・A (2-B) 奨励賞



1月行事予定

今月の聖句

狼は小羊と共に宿り／豹は子山羊と共に伏す。……わたしの聖なる山においては／何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。水が海を覆っているように／大地は主を知る知識で満たされる。

イザヤ書 11章6、9節

クリスマスの4週間前からアドベント(待降節)に入り、学校中にクリスマスの装飾やライトがつけます。それはただ楽しいイベントとしてのクリスマスを待ち遠しく思うということではなく、旧約時代から何百年も待ち続けた救い主の預言が実現した喜びを深く味わう時なのです。

預言者イザヤは、「狼は小羊と共に宿り」と告げます。現実には狼と小羊は互いに殺し殺されるもの。敵同士が存在がいつか平和に仲良く暮らせるようになる。そんなこと無理。今も世界にテロや争いは絶えないし、クラスの中にも仲良くなれそうにない人がいる……。

でも約束どおり、救い主イエス様が来られたように、どんなに時間がかかっても、どんなに難しくても、神様の御心は必ず実現するよ、と。クリスマスを待つとは、そんな神様の御心を信じて、この世界に対しても、自分自身に対しても、「あきらめない」ということ。そして新しい年に向かって、神様の御心が実現するための歩みを新たに、その準備の時でもあるのです。

～12月8日 中学放送礼拝より～

(聖書科 T. M)

1	月	元日
2	火	特別休暇
3	水	特別休暇
4	木	
5	金	
6	土	始業の日 高3センター対策授業 T 休み明けテスト(中3、高1・2)
7	日	
8	月	成人の日
9	火	選択科目2号用紙提出 新高1芸術選択科目申込用紙提出締切
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	大学入試センター試験
14	日	
15	月	センター試験自己採点
16	火	高3登校日 卒業記念礼拝 午前40分授業 午後50分授業 1限8:40～ ミヤンマー研修
17	水	3限まで授業 午後入試準備
18	木	中入試 T 生徒休日
19	金	
20	土	英語検定(学校実施)
21	日	
22	月	国公立大学2次試験出願 (1月31日(木)まで)
23	火	
24	水	高2進研模試(全日) 高1進研模試(1限～5限) 6,7限高1授業
25	木	中 五人委員選挙(立会演説会、投票)
26	金	
27	土	高2進研模試(午後)
28	日	高1 駿台全国模試(希望者)
29	月	
30	火	
31	水	